

2025 年 8 月 1 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 IR 担当 吉良 亜実
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : ir@chorditherapeutics.com

千寿製薬株式会社との共同研究開始のお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下「当社」）および千寿製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：吉田周平、以下「千寿製薬」）は、当社の抗がん薬パイプラインのうち GCN2 キナーゼ阻害活性を有する特定化合物（以下「本化合物」）を用いて、眼科疾患に対する治療薬開発に向けた共同研究（以下「本共同研究」）の実施について合意し、本日、共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本共同研究におきまして、当社および千寿製薬は、各々が保有する技術、リソースならびに医薬品研究開発のノウハウを活用して、眼科疾患治療薬の創製を目指した研究に取り組みます。本共同研究の役割分担としましては、当社は本化合物に関するノウハウや研究材料の提供を担当し、千寿製薬は自社の眼科領域での優れた経験と知見を活かして、薬効薬理試験などを通じて本化合物の眼科疾患治療薬としての可能性を検証します。本共同研究の終了後に事業化を検討する場合は、独占交渉権の設定などを協議することとなっております。

なお、本共同研究の範囲は、本化合物の眼科疾患に対する治療薬開発の検討に限定しております。当社は抗がん薬パイプラインに関して他の疾患での研究開発や事業提携の可能性を継続的に検討していきます。

また、本共同研究と 2025 年 7 月 8 日付で公開した株式会社社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所との共同研究は直接的に競合するものではなく、当社はそれぞれの共同研究先とともに、当社が有する 2 つの化合物の眼科疾患領域での新しい可能性を検討していくものでございます。

なお、本件が業績に与える影響は軽微です。

千寿製薬株式会社について

千寿製薬は、1947 年の設立以来 70 余年にわたり、ユニークな発想と研究開発力によって、眼科領域を中心とした独創的で優れた医薬品・サービスの提供に努めてきました。現在「“見える”の向こうにあるものを。」というスローガンを掲げ、世界の眼科を中心とした医療現場を見つめ、柔軟な発想と探求心をもって新しい薬の開発に挑み続けています。千寿製薬は、革新的な医薬品・サービスを永続的に創提[※]することで、世界中の患者様の“みる喜び”QOV（Quality of Vision）の維持・向上に貢献し、社会から信頼され必要とされる企業であり続けることを目指しています。

詳細は、千寿製薬ウェブサイト（<https://www.senju.co.jp/>）をご覧ください。

※ 創提（そうてい）《造語》創り出し、提案、提供すること。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib（CTX-712）は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト（<https://www.chorditherapeutics.com/>）をご覧ください。